

埋蔵文化財確認試掘調査結果

試掘依頼内容	
申請地	茨木市岩倉町1番他
申請人住所	京都市中京区西ノ京梅尾町1番地の7
申請人氏名	学校法人 立命館 理事長 長田豊臣
申請代理人住所	京都市中京区西ノ京朱雀町1番地
申請代理人氏名	学校法人 立命館 財務部 管財課 [REDACTED]
工事名称 立命館大学茨木新キャンパス整備	建物構造 地上7階建ほか
敷地面積 115567.88 m ²	建築面積 [REDACTED] m ²
調査結果	
実施日	平成23年11月25日～12月19日
試掘ヶ所 約90カ所	試掘方法 機械掘削
内容	
<p>調査地は、サッポロビール茨木工場の跡地である。周辺の包蔵域としては、東に中条小学校遺跡、西に松ヶ本南遺跡が広がっている。今回、ほぼ全面的な試掘調査を実施したところ、東域では中条小学校遺跡、西域では松ヶ本南遺跡の包蔵範囲が当地まで伸びていることが確認された。東域では標高約11.5mの層位で、古墳時代をはじめ各時代の遺構が重複する。西域においては標高11～13mの層位で、弥生時代から古墳時代の複数の遺構面が存在すると思われる。遺物や遺構は希薄であると思われる。</p>	
詳細は別紙。	
今後の対応	
1、通常工事 2、慎重工事 3、立会調査 4、設計変更 5、発掘調査	
5、発掘調査	
発掘調査の必要があります。	

茨教地第1598号

平成24年1月12日

学校法人 立命館
理事長 長田 豊臣 様

茨木市教育委員会
教育長 八木 章治



埋蔵文化財確認試掘調査の結果について（報告）

先に埋蔵文化財確認試掘調査の依頼がありました茨木市岩倉町
1番他の土地について、下記のとおり調査の結果を報告します。

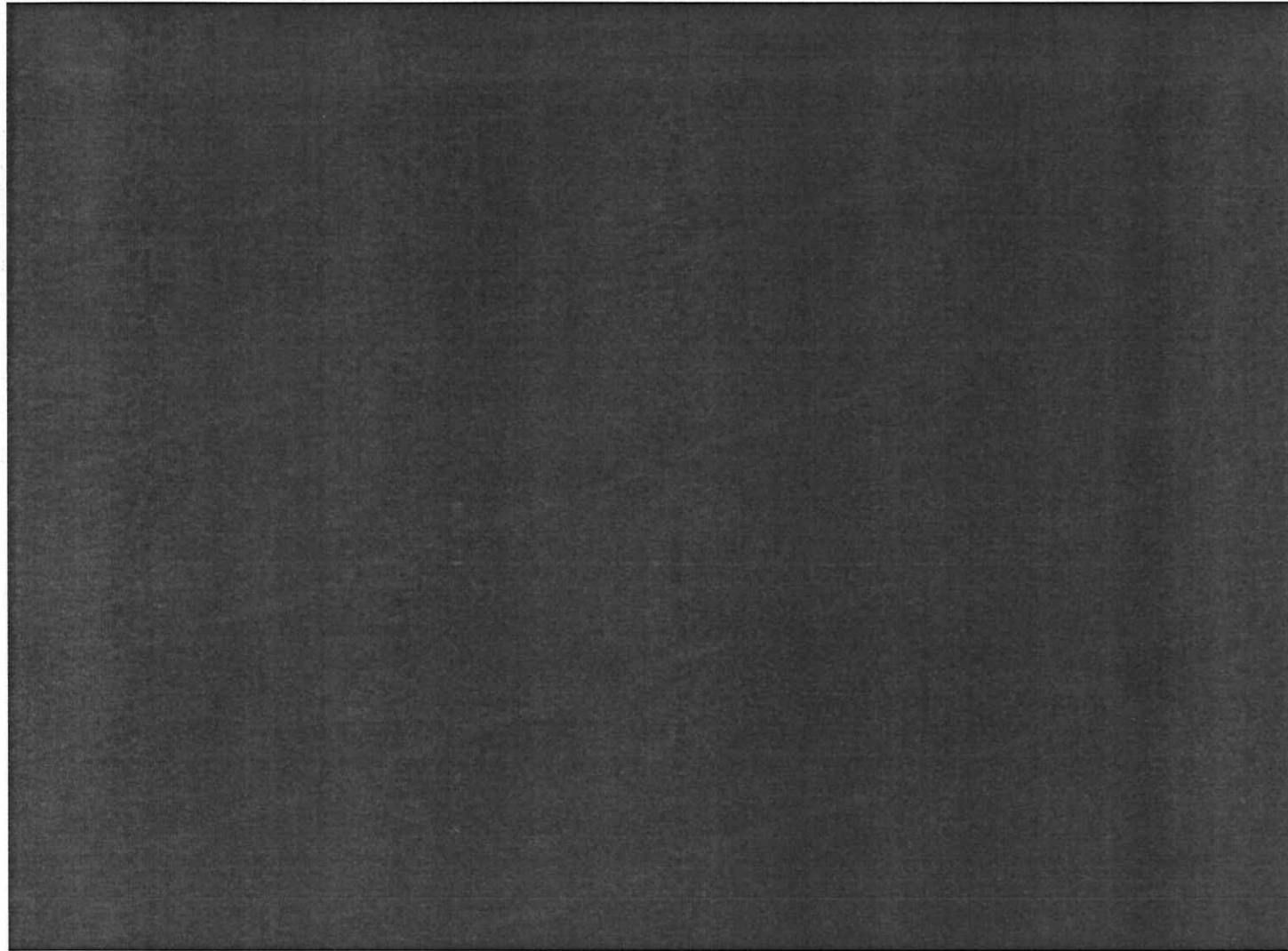
記

上記の土地について、平成23年11月25日から12月19日にかけて、約90カ所の試掘調査を実施した結果、敷地の東域では、中条小学校遺跡の包蔵域から伸びる包含層と遺構面、西域では、松ヶ本南遺跡の包蔵域から伸びる包含層と遺構面を確認しました。中条小学校遺跡該当範囲では、標高11.5m付近の層位を検出面として、古墳時代の墓域を主体とする各時代の遺構が同一面で検出され、松ヶ本南遺跡の該当範囲では、標高11～13mの深さで、弥生時代から古墳時代の遺構面が複数存在すると推測されます。

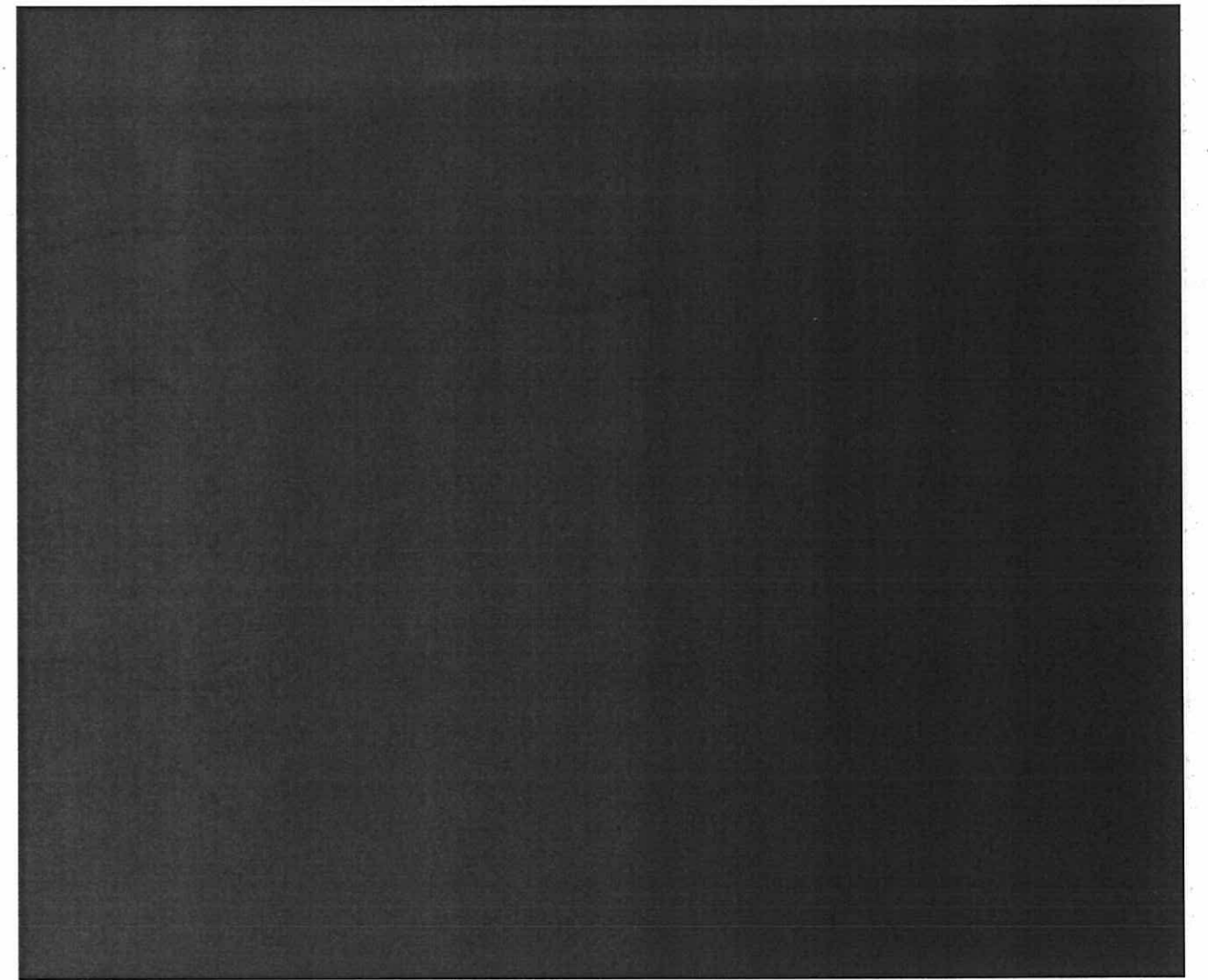
したがって、今後の開発等に際しては、発掘調査が必要となります。つきましては、地域教育振興課と調査方法等について協議してください。なお、今回試掘を実施していない部分について、開発の際には、事前に試掘調査等が必要となります。

地域教育振興課
文化財資料館
中東 正之

TEL 072-622-8121（内線 3563） 上田



試掘位置(1-90)と包蔵範囲



キャンパス配置図と包蔵範囲

経過 調査地は、茨木市南部の平野部、JR茨木駅の南側に位置する。西に千里丘陵、東に茨木川を望み、北西から南東へむけて緩やかに下る扇状地性の平坦面に立地している。近代まで田畑と奈良池の湿地が広がる景観であったが、昭和36年にサッポロビール茨木工場が操業を開始している。工場は、平成20年に操業を停止して解体され、更地となっている。現状は、中央に仮設沈砂池が設けられ、周辺から中央の池に向かって盛土による勾配がつけられている。

周辺の包蔵域としては、東に中条小学校遺跡、西に松ヶ本南遺跡が広がっている。中条小学校遺跡は弥生時代中期から中世の複合遺跡であり、これまで多くの発掘調査が実施されている。当地に最も隣接する平成9年度調査では、古墳時代中期から後期頃の埋没墳などが検出されている。松ヶ本南遺跡については、調査例も少なくその全容は不明であるが、弥生時代から古墳時代の包含層・遺構面が、希薄ながらも広く分布すると考えられている。

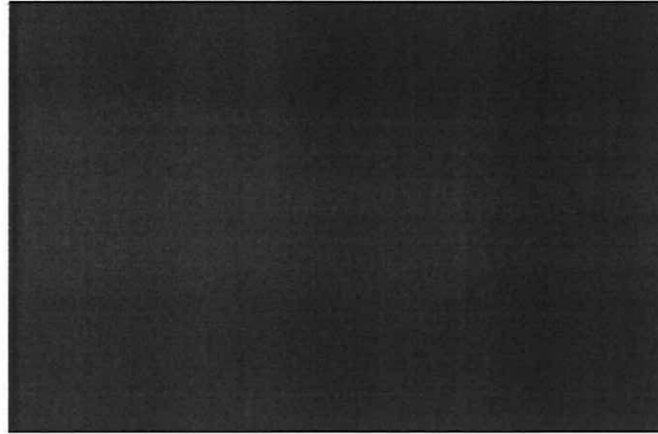
調査地では、これまでも工場の増築や解体に伴う試掘調査が実施されており、中条小学校遺跡の包蔵範囲が伸びている可能性が指摘されていた。今回、敷地全体を7エリアに分け、エリアF・G他を除く約90カ所の試掘坑を設定した。

結果 エリアA～Dにおいて、遺構面となりうる層相の堆積層と、その旧表土である古土壌の分布を確認した。また、エリアB～Dの一部で、下位層においても古土壌を認めた。これらは、松ヶ本南遺跡の包蔵範囲が伸びているものであると判断される。

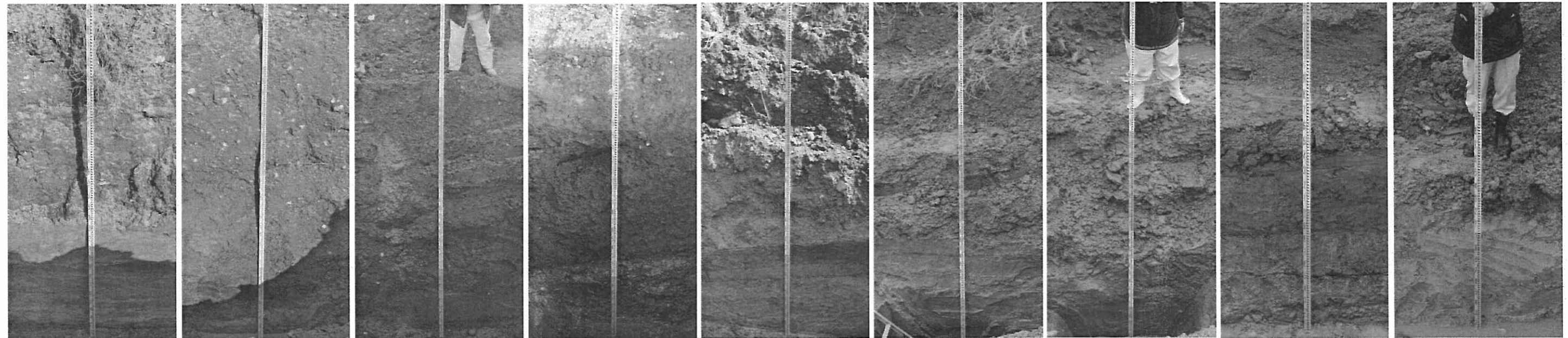
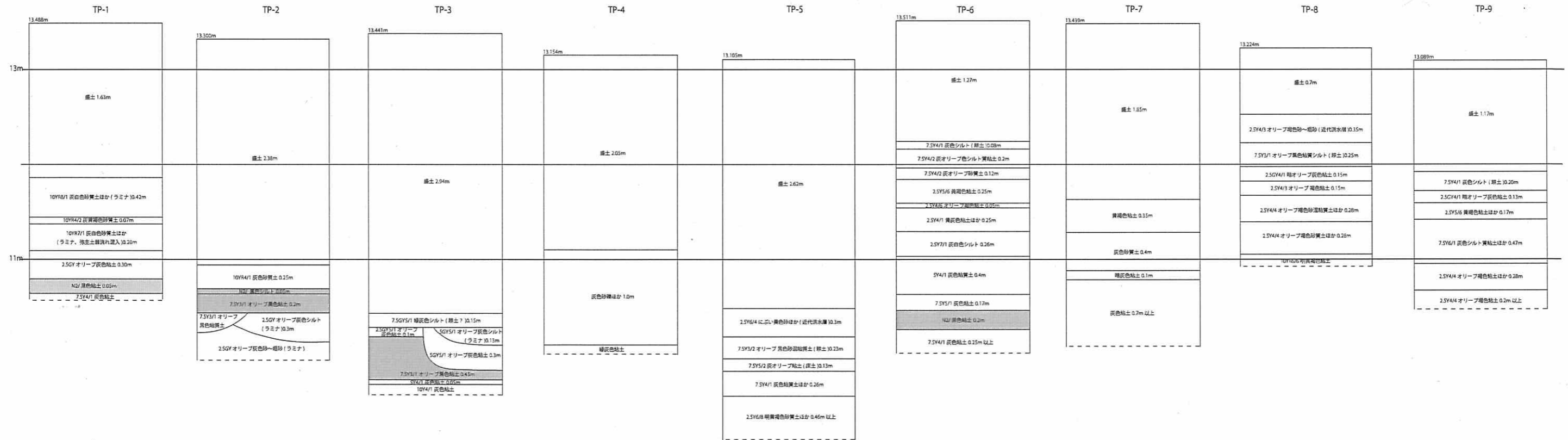
エリアEにおいて、中条小学校遺跡から伸びる包蔵域を確認した。遺跡西端の微高地に該当し、古墳時代の墓域などが想定できる。その包蔵域は、未調査であるエリアFなどにも広がるものと推測される。

エリアAの西側やエリアBの東側などには複数の流路が認められる。流路はおおよそ北から南へ流下するものと考えられる。

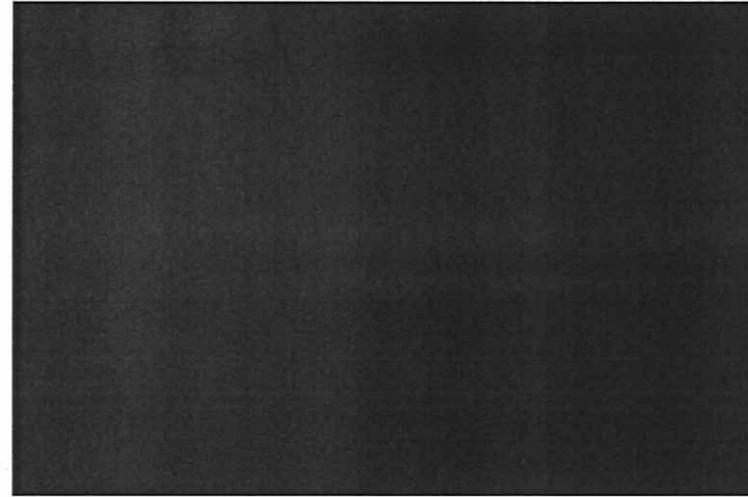
エリア C・D(1-9) 柱状図・写真



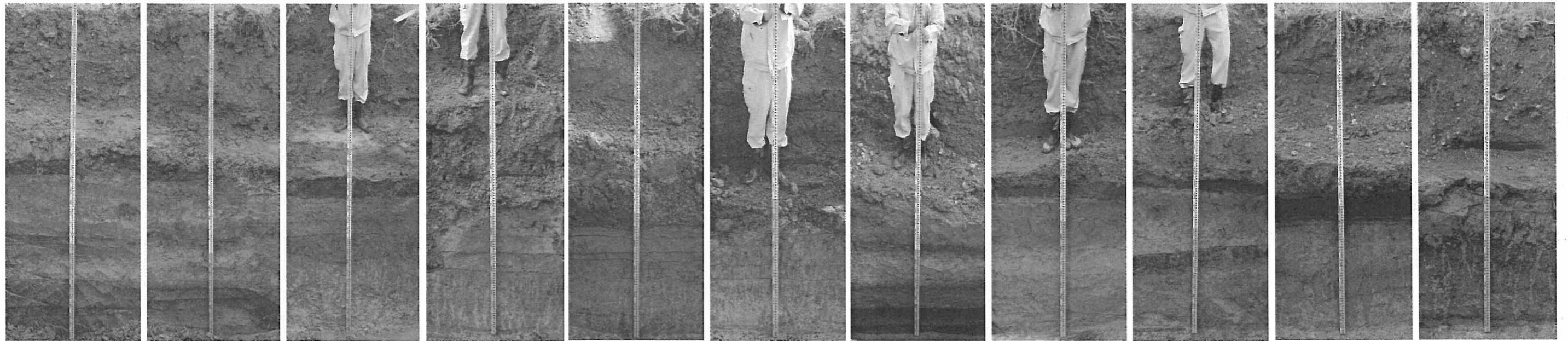
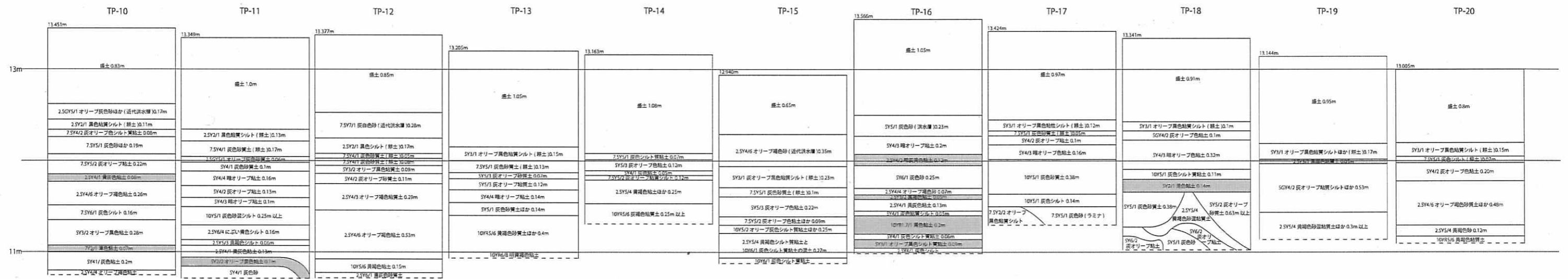
現在は、古池としてその一部を残す旧奈良池推定域付近に該当する。盛土からの湧水が多いため、地下水位は低い状態にあり、深い層位で古土壌の分布が認められる。池の周辺部では、遺構面の基盤となりうる層相の堆積層が認められる。



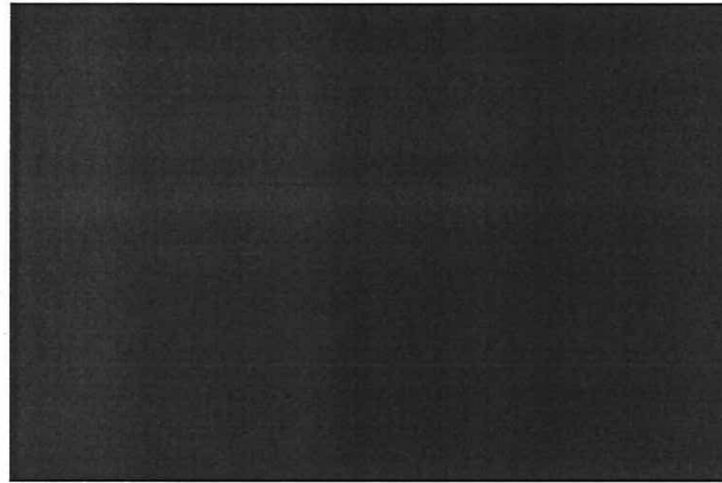
エリア C・B(10-20) 柱状図・写真



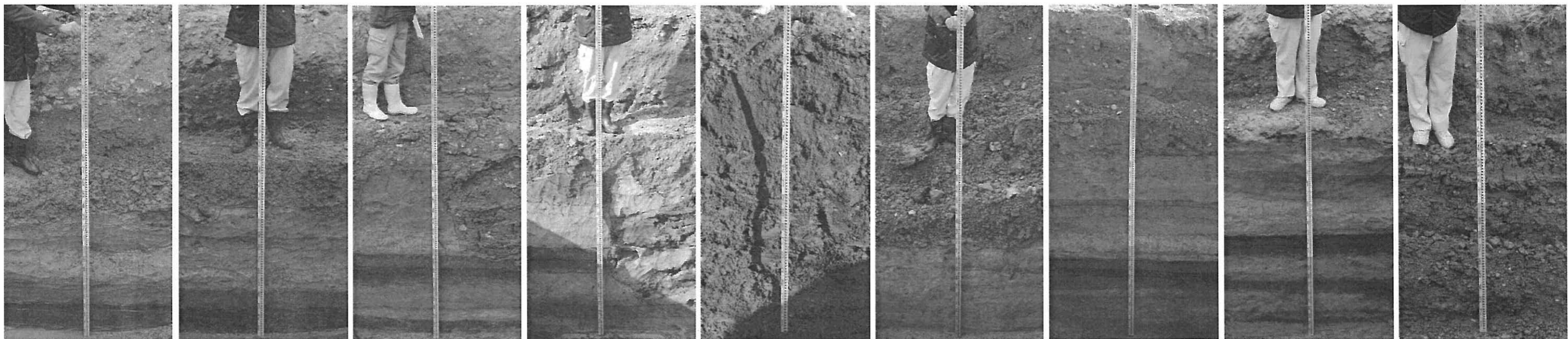
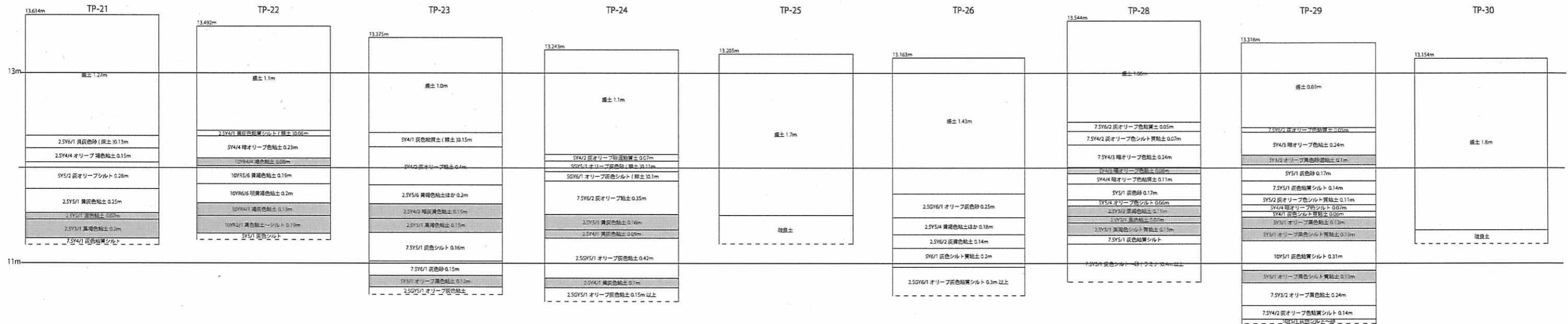
遺構面の基盤となりうる層相の堆積層と古土壌が認められる。
下位層の古土壌と流路の存在も認められる。



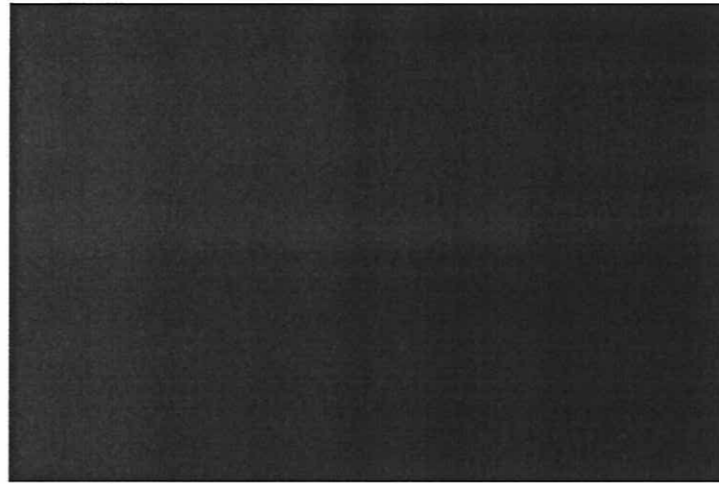
エリア B(21-30) 柱状図・写真



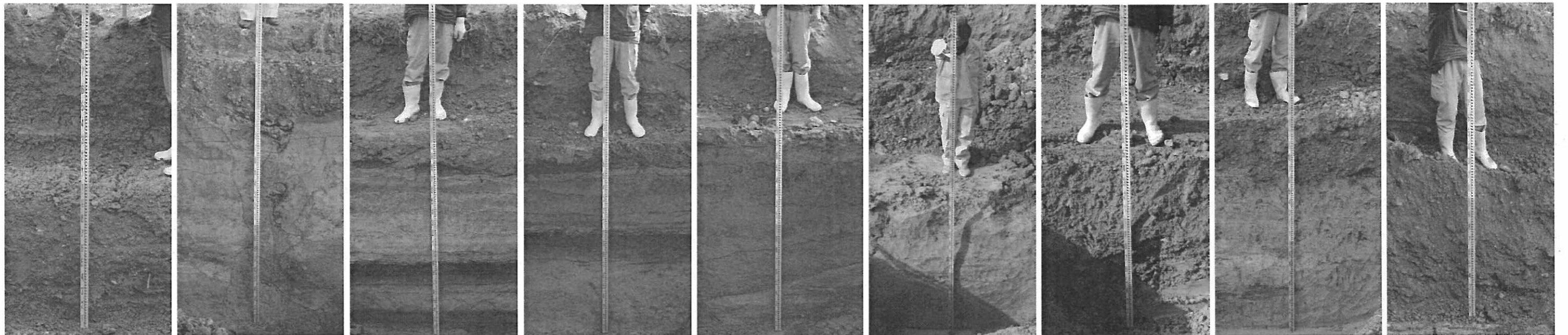
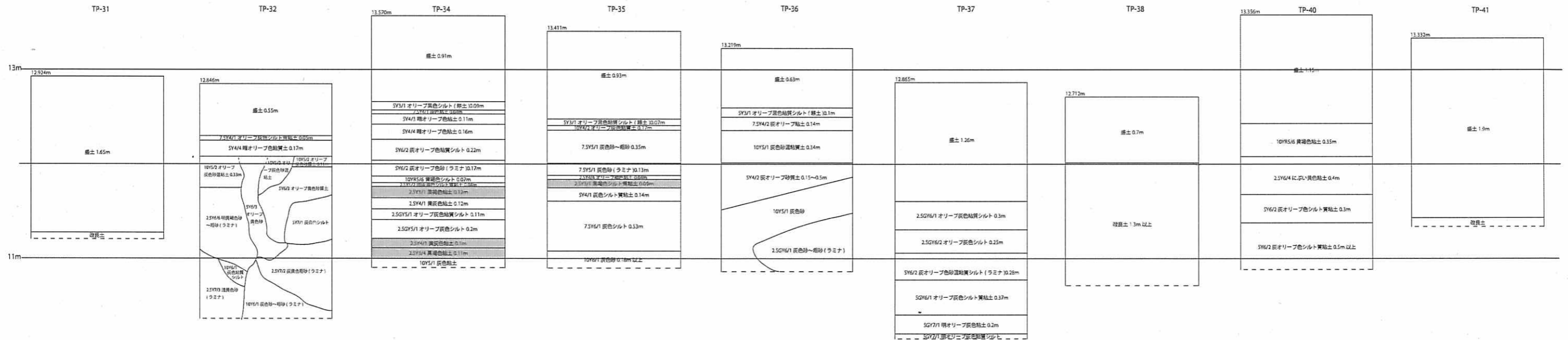
遺構面の基盤となりうる層相の堆積層と古土壌が認められる。
下位層の古土壌も認められる。



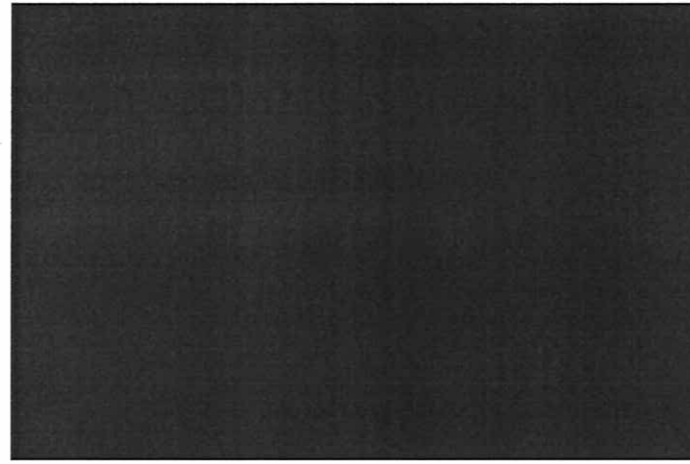
エリア B(31-41) 柱状図・写真



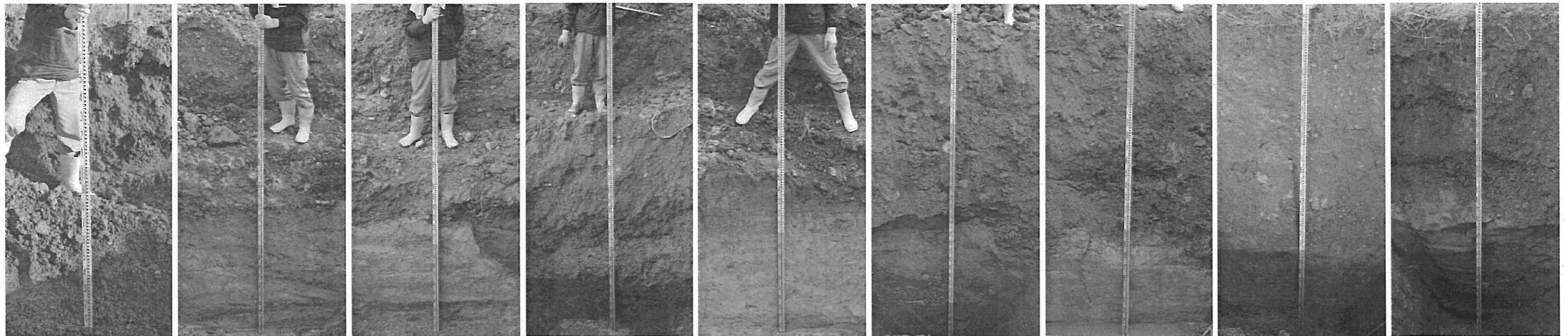
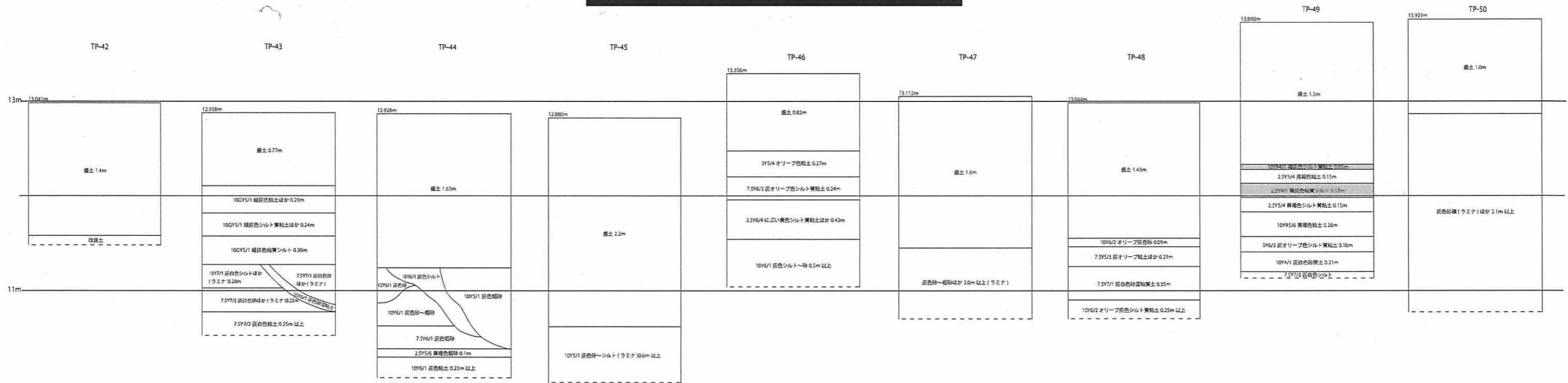
遺構面の基盤となりうる層相の堆積層と複数の流路が認められる。



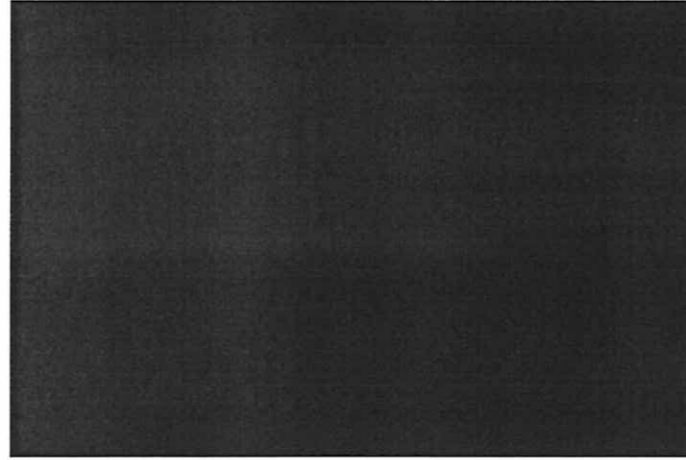
エリア B・A(42-50) 柱状図・写真



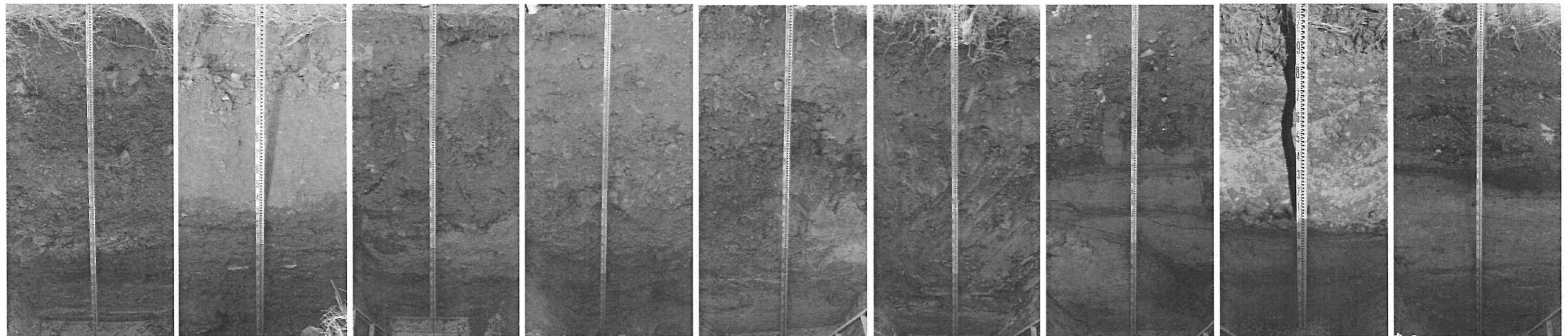
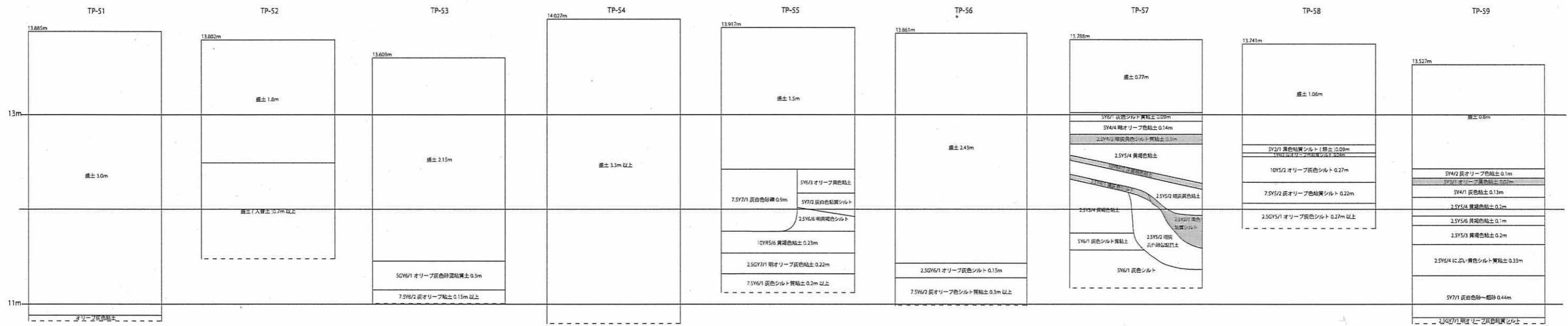
複数の流路が認められる。



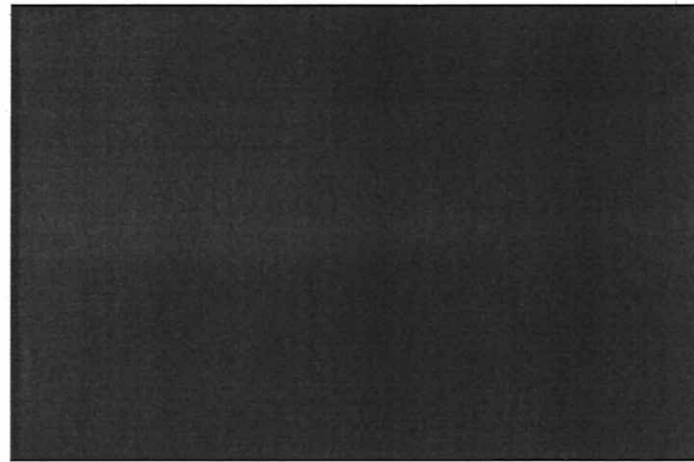
エリア A(51-59) 柱状図・写真



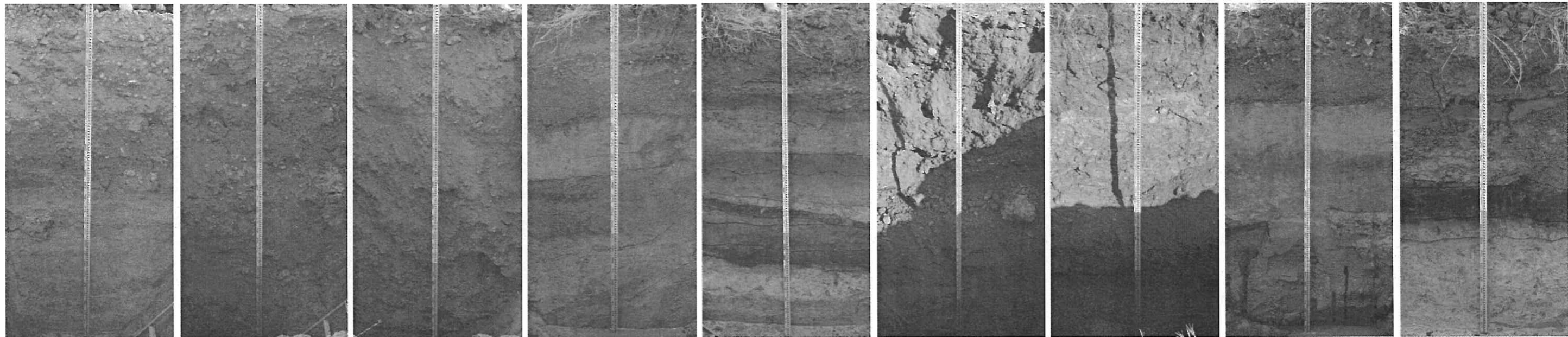
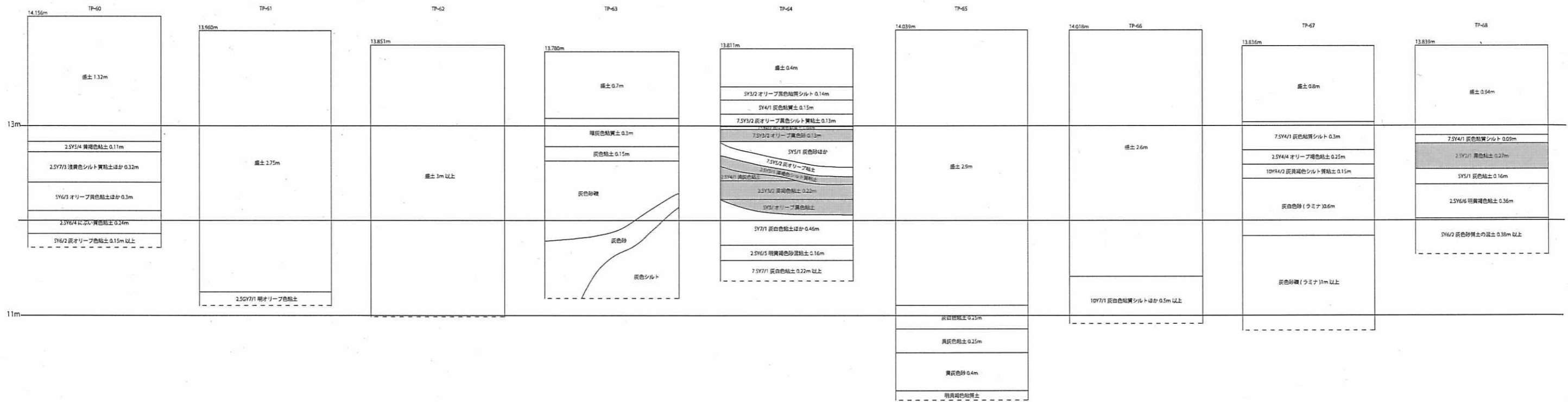
遺構面の基盤となりうる層相の堆積層と古土壤、複数の流路が認められる。



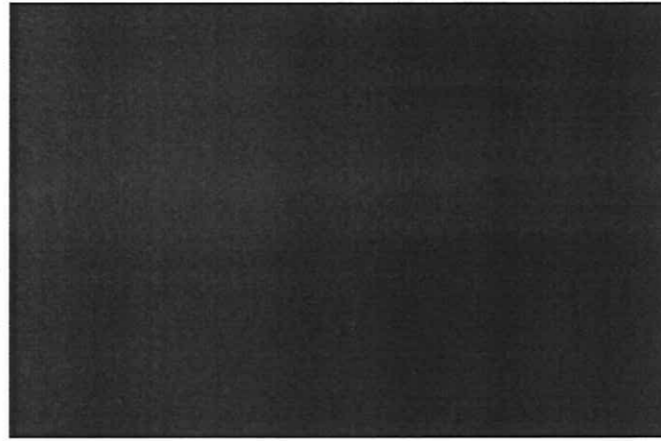
エリア A(60-68) 柱状図・写真



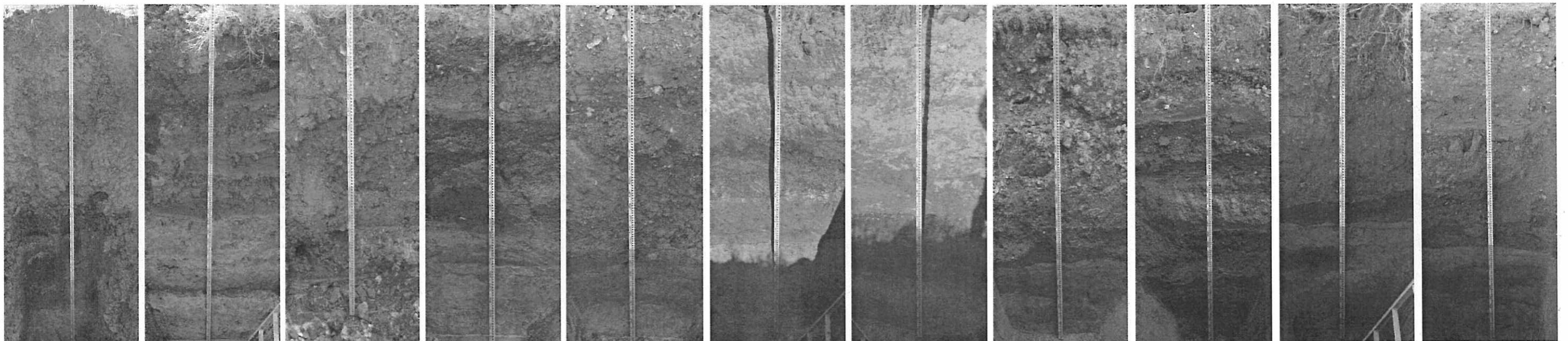
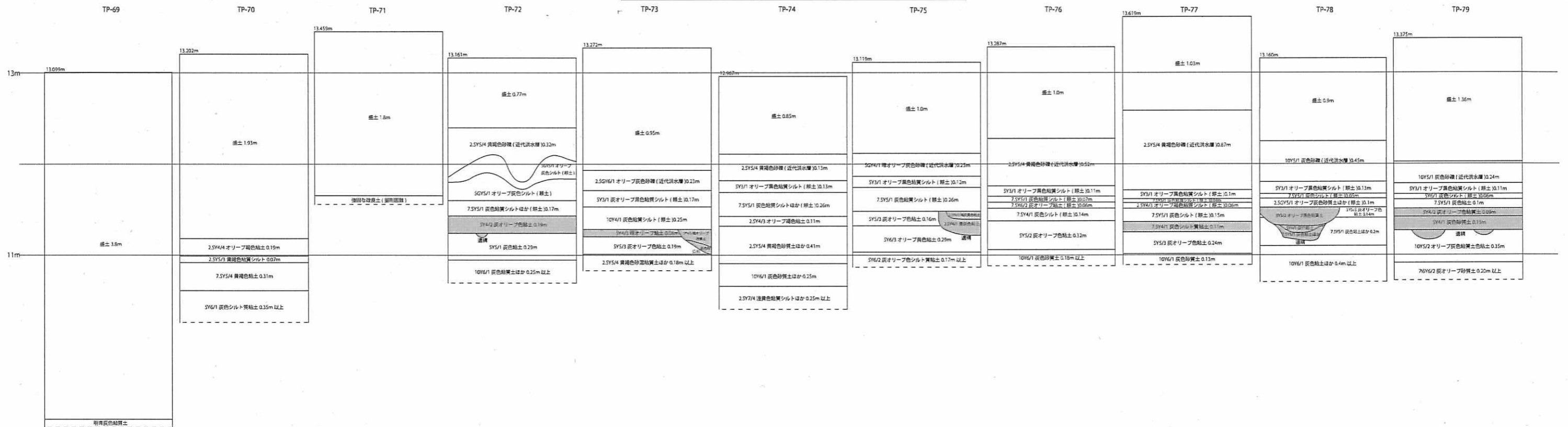
遺構面の基盤となりうる層相の堆積層と古土壌、流路の存在が認められる。



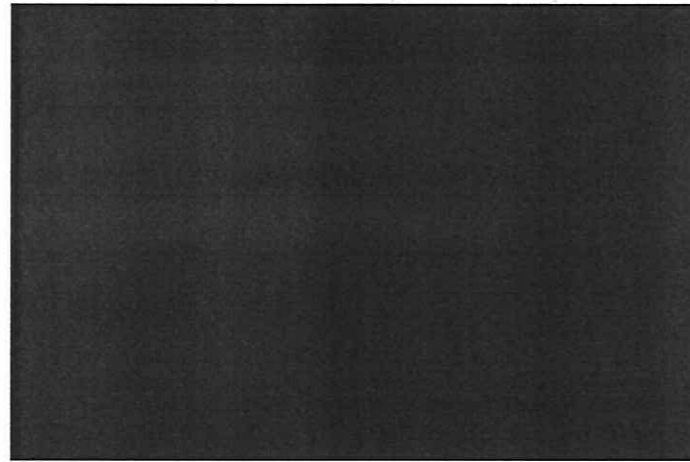
エリア E(69-79) 柱状図・写真



中条小学校遺跡の包蔵域から広がるとみられる包含層と遺構面 (標高 11.2~11.5m 付近) を確認。



エリア E(80-90) 柱状図・写真



中条小学校遺跡の包蔵域から広がるとみられる包含層と遺構面 (標高 11.1~11.7m 付近) を確認。

